

元気なあなたと呑気なあなたに贈る旅

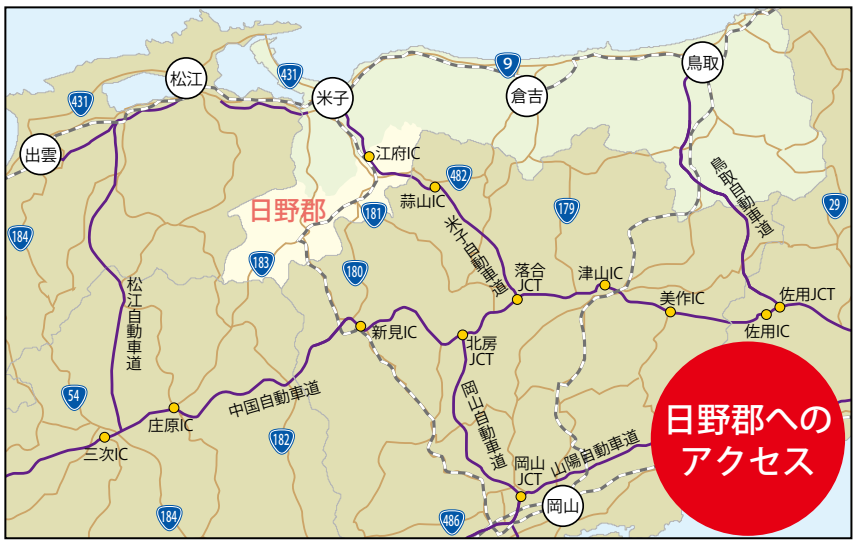
鳥取県日野郡交流指南書

日野路往来

(体験メニュー編)

発行／日野郡広域交流促進協議会(事務局 鳥取県日野総合事務所県民局商工観光課)
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1 TEL0859-72-2081

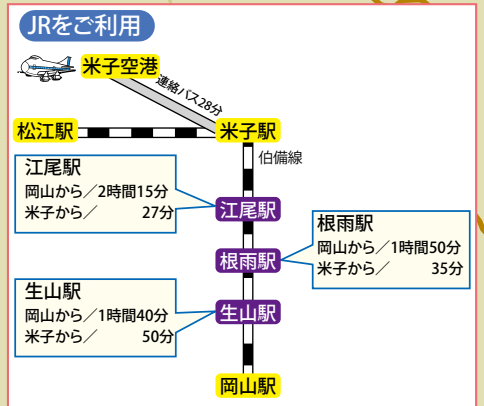




車をご利用

| | | | |
|----------|-------|-------------|-------------|
| 米子I.C. | 9km | 7分 | 江府町江尾まで約5分 |
| 溝口I.C. | 8km | 6分 | 日野町根雨まで約20分 |
| 江府I.C. | 15km | 11分 | |
| 蒜山I.C. | 40km | 31分(中国自動車道) | |
| 庄原I.C. | 92km | 1時間 | |
| 落合J.C.T. | 102km | 1時間7分 | |
| 吹田 | 182km | 2時間16分 | |
| 岡山I.C. | 60km | 45分(岡山自動車道) | |

日南町霞まで約1時間



日野郡の冬を体験してみよう

今回で紹介するのは、『日野郡の冬』を体験するコース。
オシドリを見たり、雪の上を歩いたり、囲炉裏を囲んだり…
冬だからこそ体験できるものや、
その良さを体感できるものがあります。



オシドリ観察 (日野町根雨)



日野町根雨の日野川の川辺にオシドリ観察スポットがあります。オシドリの飛来期間中、多い日には1,000羽以上のオシドリを見ることができます。ここでガイドを務めているのが日野町オシドリグループの皆さん。全国から送られてくるドングリをオシドリたちに与えながら、期間中は休まずガイドを務めています。オシドリの観察は、冬の風物詩となっています。

所要時間：約1時間
時期：11月～3月末
観察：早朝(7時～8時頃)、夕方(4時～5時)多く見ることができます。
その他：観察小屋近くに資料館があります。
体験料：無料

[お問合せ]
オシドリグループ事務局
電話：0859-72-0271
FAX：0859-72-0232
HPアドレス：<http://www.oshidori.jp/>



オシドリ資料館の看板



オシドリグッズ

オシドリ観察



出雲街道根雨宿 街あるき



古民家体験



Start! JR根雨駅からスタート

徒歩 5分

建物耐産構
本館1号
大正11年7月31日

なんと、古い駅！
御年90才！

駅舎は大正11年築。
懐かしき木造駅舎がお出迎え。

Goal

山里の自然観察・スノーシューハイク

車 5分

出雲街道根雨宿 街あるき (日野町根雨)

かつて出雲松平家の参勤交代路であった出雲街道の宿場町根雨は、「たたら製鉄」の中心地としても栄え、現在でも当時の風情を色濃く残しています。殿様の宿舎である本陣の跡や「たたら製鉄」の歴史資料を展示した、たたら楽校(日野町公舎)などを案内し、歴史や生活文化を伝える活動をしているのが「奥日野ガイド倶楽部」の皆さんです。その事務局は築160年の重みを今に伝える古民家「沙々樹」。巨木の小屋組みや囲炉裏の間など、往時のままの佇まいが感じられます。

所要時間：約1時間～1時間半
内容：出雲街道根雨宿の街並み、たたら製鉄の歴史散策
見どころ：本陣跡、たたら楽校(日野町公舎内)

[お問合せ]
奥日野ガイド倶楽部事務局(古民家沙々樹内)
〒689-4505鳥取県日野町日野町舟場357
電話：0859-72-1350 FAX：0859-72-1350



生活用水として活躍した水路



古民家「沙々樹」



囲炉裏



古民家「かつみや」



さまざまな体験ができます
(リース作り中)



昔ながらのかまど

古民家体験 (古民家「かつみや」)

(日南町菅沢)

日南湖にある菅沢ダム付近に、古き良き時代の面影を色濃く残す古民家「かつみや」があります。大正2年に建築、直屋(すこや)造で登録有形文化財に指定されています。『採って・見て・食べて・遊んで・泊まって～五感を蘇らせる～』をモットーに様々なプログラムが四季を通して準備されています。かまどご飯や春の山菜料理、夏の滝遊びや樹のブランコなど、田舎でしかできない体験が魅力です。

所要時間：約1時間30分
内容：古民家見学、かまど炊きで飯の昼食
見どころ：登録有形文化財の母屋
体験料：2,500円(中学生以上)

【お問合せ】
古民家「かつみや」
〒689-5532 鳥取県日野郡日南町菅沢729番地
電話・FAX：0859-87-0304
HPアドレス：<http://katsumiya.iinaa.net/index.html>
メールアドレス：miyamoto1031-5@sea.chukai.ne.jp

もっとしりたい日野郡！

モデルコースでご紹介した体験だけでは、日野郡の魅力を語り尽くすことはできません。山や川、美味しいものなど、まだまだご紹介したいものがたくさんあります。

奥大山古道ウォーク

(江府町御机)

信仰の山として古くから栄え、また牛馬市が開催された大山に向かう道として切り開かれた奥大山古道。昭和37年の大山環状道路の開通により、人々の記憶の中に残るのみとなっていました。古道の歴史と文化を伝えたいと地元有志によってその一部が復活しました。

所要時間：約2時間(4km)
コース：御机鍵掛峠～御机集落～下蚊屋
体験に必要なもの：山歩きの服装、食事、水

【お問合せ】
奥大山古道保存協議会事務局
(江府町役場産業振興課)
電話：0859-75-3222 FAX：0859-75-3455



生きものの足あとを探します

山里の自然観察 スノーシューハイク

(日南町菅沢呼子)

日南町菅沢の呼子キャンプ場から上流の堰堤に向かって、森のスノーシューハイクを楽しむことができます。雪の上に残された足跡から森の生き物の生態を学んだり、狩猟のお話を聞いたり、木々の様子を普段と違う目線で観察することができます。

所要時間：約2時間
内容：山里の自然観察、スノーシューハイク(往復約3km)
見どころ：森の生きものの生態観察、狩猟のお話

【お問合せ】
グラウンドワーク大山蒜山
〒689-4424 鳥取県日野郡江府町御机837-13
(エパーランド奥大山内)
電話：0858-75-2327 FAX：0858-75-2327
HPアドレス：gw-daisen-hiruzen.com/



毛無山山頂



山頂から見る大山



カタクリの花

けなしやま 毛無山登山 (江府町俣野)

岡山県との県境に位置する毛無山。江府町側からの登山道は中国電力サージタンク(標高800m地点)から出発です。途中急な坂がありますが、その坂を登った先に素晴らしい展望が開けてきます。4月下旬～5月上旬にかけては山頂付近に可憐なカタクリの花を見ることができます。

所要時間：片道約2時間(2.3km)
標高：1,218m

【お問合せ】
白馬の会事務局
(江府町役場産業振興課内)
電話：0859-75-3222 FAX：0859-75-3455



せんとうざん 船通山 (日南町上萩山)

所要時間：片道約2時間
標高：1,142m

船通山は島根県との県境に位置し、出雲神話のオロチ伝説(スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治した話)の舞台となりました。山頂付近では国の天然記念物で樹齢1,000年を超えるといわれる大イチイの樹、山頂では360度の眺望、天叢雲剣(あめのむらくものつぎ)出頭之地の碑があります。毎年7月28日には、奉納神賑行事「宣揚祭」が行われ、神楽「剣の舞」が奉納されます。また、4月下旬から5月上旬にかけて咲くカタクリの花など、たくさん見どころがあります。

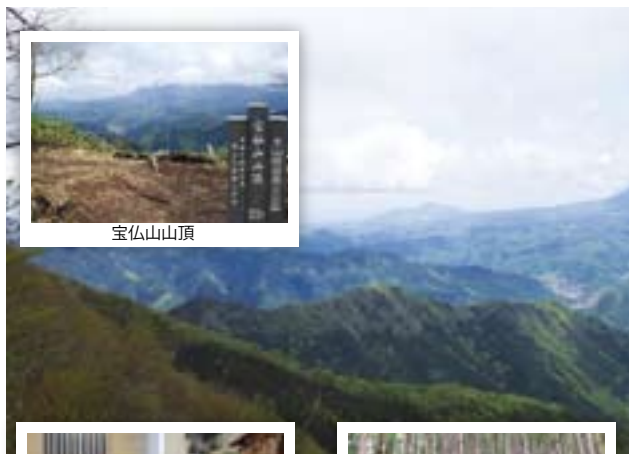
【お問合せ】日南町観光協会 (日南町役場企画政策課内)
電話：0859-82-1115 FAX：0859-82-1478



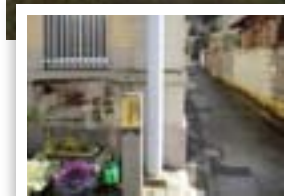
大イチイの樹



カタクリ



宝仏山山頂



宝仏山山道入口



登山道

ほうぶつざん 宝仏山登山 (日野町根雨)

古くから信仰の山として知られてきた宝仏山の登山道入口は、JR根雨駅から徒歩5分ほどのところにあります。平成11年に町内のボランティアグループ(ごうぎんすぎの子会)が登山道を整備したことから、多くの登山客が訪れるようになりました。標高差は約800mあり、登山道を進むとブナの原生林や杉の人工林、クヌギなどの林が続き、素晴らしい森林浴を堪能できます。

所要時間：片道約2時間30分
標高：1,005m

【お問合せ】
日野町観光協会(日野町役場企画政策課内)
電話：0859-72-0332 FAX：0859-72-1484



せんようざい 宣揚祭 日時：毎年7月28日

『古事記』によれば、船通山の麓へ降ったスサノオノミコトは八岐大蛇(ヤマタノオロチ)を退治し、その尾を割いて三種の神器の一つである草薙の剣(さなぎのつぎ)をとり出した、とされています。船通山山頂で行われる宣揚祭の神楽「剣の舞」は、このお話にちなみ、剣を持って悪を払う様子を舞ったものです。



■開花時期
水仙4月中旬
ぼたん桜、石楠花5月上旬
あやめ6月下旬/紅葉10月上旬

はなみやま 花見山 (日南町神戸上)

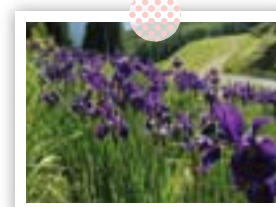
季節の花々とファミリースポーツが一度に楽しめるリフレッシュランド。冬のスキー・スノーボードはもちろん、春・夏・秋には、アストロスキーも楽しめます。春は水仙に始まり、ぼたん桜、初夏のあやめと季節の色彩が楽しめます。秋には、どうだんつつじやななかまど、かえでなどの紅葉に彩られ、冬のスキーとはまた違った楽しみ方が発見できます。

標高：1,005m
駐車場：有り

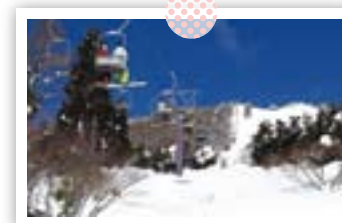
【お問合せ】
花見山観光株式会社
〒689-5662 鳥取県日野町日南町神戸上3804-10
電話：0859-83-0456 FAX：0859-83-0467
HPアドレス：<http://www.hanamiyama.co.jp/>



石楠花 (シャクナゲ)



あやめ



冬のスキー場



神秘的な源流風景

日野郡のシンボル、日野川

日野川は、鳥取・岡山県境の道後山(どうごやま：1,269メートル)および鳥取・岡山・島根県境の三国山(みくにやま：1,004メートル)にある源流部から、県西部の6市町村(日野郡3町、西伯郡伯耆町、米子市、西伯郡日吉津村)を流れて日本海に注ぐ、全長77.4キロメートル、流域面積860平方キロメートルの一級河川です。

上流部の主な支流である石見川・印賀川と日野川3川の合流点付近には、名勝『石霞溪』があります。日野川の中流部から上流部にかけては、三郡変成岩(さんぐんへんせいがん)および花崗岩(かこうがん)が分布しています。このうち花崗岩は風化によってマサ土となり、かつて日野郡の産業基盤だった『たたら製鉄』に使用されました。この『たたら製鉄』の'カンナ流し'による流砂は、日野川をくだり、河口からのびる弓ヶ浜半島の砂州が成長する大きな要因となったのです。



日野川ラフティング

(日野町安原〜上菅)

ラフティングとは6人乗りのラフト(ゴムボート)で豪快に川を下るスポーツです。スリルとスピード感を味わいながら、日野川流域に広がる自然の素晴らしさも満喫できます。春には岸辺に咲くキシツツジの美しさを堪能する事ができます。

【お問合せ】
日野町教育委員会
電話：0859-72-2107 FAX：0859-72-1484

時期：4月～5月、10月の土日祝日
体験料：[半日コース] 大人1名3,000円、
中学生以下1名2,500円
[一日コース] 大人1名6,000円、
中学生以下3,000円(昼食付)
最大収容人数：20名
準備するもの：濡れてもよい服装・服、着替え・タオル



リバーサイドひの (日野町下榎)

日野町交流センター「リバーサイドひの」は日野川の岸辺にある宿泊・交流施設で、バーベキュー施設もあります。ラフティング体験の出発・到着地にもなっていて、ラフティングで疲れた体を休めることができます。

【お問合せ】
リバーサイドひの
〒689-4526鳥取県日野郡日野町下榎1183
電話：0859-77-0333 FAX：0859-77-0555
営業時間：レストラン(11：00～14：00、17：00～21：00)
定休日：毎月第2、第4水曜日



ラフティング発着地



緩急の流れに沿って進みます



9 hinoji 石霞溪の冬景色



日野川源流の碑(日南町新屋)



鮎釣り

中国山地から湧き出た水からなる清流、日野川では香りの良い美味しい鮎が釣れます。シーズンには多くの太公望で賑わいます。

日野郡の自然を楽しむ

標高1709m、中国地方最高峰の「大山」の南側に位置する鍵掛峠や日野川とその支流の両岸に広がる石霞溪など、日野郡には大自然によってもたらされた素晴らしい景観スポットが数多くあります。



かぎかけ 鍵掛峠 (江府町御机)

鳥取県西部に位置する中国地方最高峰、大山は古くから信仰の山として知られています。森にはミズナラやスギの巨木が多く、西日本一の規模と言われるブナの天然林があります。この大山の南側にある鍵掛峠は四季ごとにその表情を変化させ、特にその紅葉はその美しさから見るものの心を捉えて離しません。

[お問合せ]江府町観光協会
電話：0859-75-6007 FAX：0859-75-3943



奥大山スキー場

大山の南壁を望み、初心者から上級者、スノーボーダーなど幅広い年代の方から楽しめるコースが充実しています。秋は紅葉でたくさんの方が訪れます。

[お問合せ]奥大山スキー場
電話：0859-77-2828
FAX：0859-77-2322



あけちとうげ 明地峠 (日野町門谷)

鳥取県と岡山県の県境に位置します。秋の冷え込んだ晴天に日野路を一面に覆う雲海から遠方にのぞく大山南壁の景観が有名で、早朝には多くのカメラマンが撮影する人気のスポットです。峠の展望台では春になれば冠雪の大山を入れたショットが絵になります。

[お問合せ]日野町観光協会 (日野町役場企画政策課内)
電話：0859-72-0332 FAX：0859-72-1484



せっかけい 石霞溪 (日南町生山～石見)

日野川と支流の石見川・印賀川の合流付近の溪流地帯が石霞溪です。南北にのびる溪谷には高さ15m、幅15mの花崗岩の巨岩「獅子岩」などの巨岩が連なり、周囲に自生する松との対比はまるで日本画のようにも見えます。四季折々の姿で訪れる人の目を楽しませてくれます。

[お問合せ]日南町観光協会 (日南町役場企画課内)
電話：0859-82-1115 FAX：0859-82-1478



たきさん 滝山公園 (日野町中菅)

ミツバツツジの名所と知られ、4月中旬から5月上旬にかけてミツバツツジが山全体をピンク色に染め上げ、多くの花見客でにぎわいます。公園内の滝山神社の境内には、小泉八雲の小説「骨董」の中で幽霊滝として紹介された龍王滝があります。



[お問合せ]日野町観光協会 (日野町役場企画政策課内)
電話：0859-72-0332 FAX：0859-72-1484



サクラソウ (日南町福栄)

鳥取県絶滅危惧種1類に指定されているサクラソウは、平成14年日野郡日南町で自生が確認されました。例年、開花時期に「福栄さくらそうを守る会」のメンバーが現地の案内や見守り活動をされています。



[お問合せ]福栄さくらそうを守る会 (榎木建明さん)
電話：0859-83-1068



マスコットキャラクター
はんざけくんの"ビンバツ"

オオサンショウウオ (日南町多里)

オオサンショウウオ(地元では"はんざけ"と呼ぶ)は、はるか大昔からその姿を変えずに地球上に生息していると考えられ「生きて化石」と呼ばれている生きものです。一匹一匹の個体が国の特別天然記念物に指定されているため、捕獲したり移動させたりすることや許可無く飼育することは禁じられています。その生息は、水環境で大きな影響を受けます。このため日野川の源流がある多里地域では「オオサンショウウオを守る会」を結成し、この希少な生きものと人間が共に住みやすい環境づくりのために活動を続けています。

[お問合せ]多里地域振興センター内 多里まちづくり推進協議会
電話・FAX：0859-84-0151
メールアドレス：skn0500@town.nichinan.tottori.jp



時期
7月上旬(約2週間)
観察時間
19時30分～21時まで
注意事項
スック、長靴などの靴でお越しください。
虫対策として
長袖、長ズボン

ヒメボタル (日南町福万来)

日南町福万来には、杉林や竹やぶに生息する森のホタル『ヒメボタル』が生息しています。メスは羽が退化しているため飛ぶことができません。オスは地表から1メートルから2メートルの高さを飛んで光のコミュニケーションをします。ゲンジボタルやヘイケボタルとは光の発し方が異なり、森の下草あたりがチカチカと明るい光を放ち、星空のようなどとも美しい光景を見ることが出来ます。昔からこの地に生息していた大切なヒメボタルが住む環境を守るため、現在は地元の方々の手厚い保護活動をされています。

**[お問合せ]日南町山上地域振興センター
山上まちづくりの会 電話・FAX：0859-82-0933**

日野郡の歴史で満たされる

日野の地に育まれた珠玉の歴史を探しに出かけませんか。



開運グッズ

かもち 金持神社 (日野町金持)

金持と書いて「かもち」と読む、全国でここにしかない縁起の良い名前の神社です。神社のある金持郷は、昔、黄金より勝ると言われた「玉鋼」の産地で、原料の真砂鉄が採れる谷を多く所有し、鉄(てつ)のことを金(かね)と読んでいた事から、金の採れる谷を多く持つ郷「金持」と呼ばれるようになったと伝えられています。現在では、開運・金運を求めて多くの参拝客があり、国道181号沿いの札所(売店)では、様々な開運グッズを買い求めることができます。

[お問合せ] 観光物産館 金持神社札所(売店)
〒689-4512 鳥取県日野郡日野町金持1490
電話・FAX: 0859-72-0481 (開所時間 AM10:00~PM4:00)
HPアドレス: <http://www.kanemochi-jinja.net/>



平成25年2月から販売された「金持神社の棚からばた餅」幸運をあやかりとうと、人気急上昇です。



オハツキ・タイコイチョウ

おいわみ 大石見神社 (日野郡日南町上石見)

今から1300年前に編纂された古事記に登場する大国主命(オオクニヌシノミコト)をまつり、その二度目の復活の地とされている神社です。石段を登ったところにイチョウの巨木があり、葉面に種子(ギンナン)のついた「オハツキ」と、種子が太鼓の形に変形した「タイコ」という珍しい二つの特徴を示しており、「オハツキ・タイコイチョウ」と呼ばれています。紅葉の季節には境内一面にイチョウの葉が広がります。

[お問合せ]
日南町観光協会 (日南町役場企画課内)
電話: 0859-82-1115 FAX: 0859-82-1478



ささふく 樂樂福神社 (日南町宮内)

その創建は遙か千百年以上の昔とされ、鉄生産の祖先神として崇敬された総氏神です。神社にまつられている孝霊天皇は、鬼住山に住む鬼を退治したという伝説があり、それに関係する鬼塚や太刀洗の池、鬼が投げたとされる石などがあります。開運招福の神として敬われ、今もたくさんの人が訪れています。

[お問合せ]
樂樂福神社 社務所
〒689-5216 鳥取県日野郡日南町宮内1101
電話・FAX: 0859-82-1619
HPアドレス: <http://sasafuku.jimdo.com/>



ふくさかえ 福榮神社 (日南町神福)

たたら製鉄ゆかりの「姫鋳五十鈴姫」(ヒメタタライズズヒメ)を祀っている縁起の良い名前の神社です。旧住所は「日野郡福栄村神福」。その地名からも神の福が授かる、福を呼び込むと評判を呼んでいます。

[お問合せ]
福栄まちづくり協議会
電話・FAX: 0859-83-0454
HPアドレス: <http://fukusakaemachiky.sharepoint.com/Pages/jinja.aspx>



祈禱済み招福アイテム(招福袋)+護符(案内ガイド付き) プラン

招福袋の桜色は風水で「幸運を呼び寄せる」とされており、地元の天然染料で手仕事で染め上げられています。

■期間 通年
体験料: 880円 最小催行人数: 20名



黄金団子(きなこ団子)+お茶のサービスプラン

■期間 通年
料金: 200円 最小催行人数: 20名



ふくなり 福成神社 (日南町神戸上)

急な階段を登った先に本殿幣殿、拝殿、随神門、参籠所があり、「福」を「成す」という名前にあやかりとう多くの参拝客が成功祈願に訪れます。

[お問合せ]
日南町観光協会 (日南町役場企画課内)
電話: 0859-82-1115 FAX: 0859-82-1478



日野郡のたたら製鉄

現在、日野郡のたたら製鉄の歴史を見つめ直した人たちは、隆盛を誇った「たたら製鉄」の価値を再確認し、その魅力を広めて地域づくりに生かそうと活動を始めています。関連する資料の展示施設「たたらの楽校（がっこう）」や、たたらを題材にした小説『TATARA』の出版、たたらの遺跡を巡る小旅行の催行など、さまざまな取り組みがなされています。



がっこう
たたらの楽校 根雨楽舎

(日野町根雨)

日野郡で最も大きい鉄山師、近藤家の歴史と残っている貴重な資料を基にたたらを詳しく解説しています。

日時：土曜日・日曜日 10:00~16:00
電話：0859-72-0249 (日野町商工会)



がっこう
たたらの楽校 大宮楽舎

(日野町印賀)

旧大宮小学校の校舎を利用し、「印賀鋼」を中心にわかりやすく解説したパネル・ジオラマを展示しています。

日時：月曜日～金曜日 10:00~16:00
※事前申し込みがあれば、土・日・祝・祭日にも開校
日野郡日南町印賀1516 大宮地域振興センター
TEL：0859-87-0911

かつて
日本には、砂鉄を原料とする鑪（たたら）と呼ばれる伝統的製鉄法が存在しました。たたらとは、本来火勢強化のための足踏み送風機の鞆（ふいご）を意味しましたが、その後、砂鉄を溶かす炉全体、ついで付属設備一切を総称するようになりました。砂鉄の豊富な中国山地では全国の鉄の約8割を産出した時期もあり、低廉な洋鉄が普及するまで日本の製鉄産業の中心だったのです。

つごうやま 都合山たたら跡

大鉄山師の近藤家によって操業されたたたら場(明治22年~32年操業)の跡です。製鉄の様態を祭る金屋子(かなやご)神社跡、ため池、水路など山内全体がよい状態で保存されており、現在も崩れずに残る石垣が当時の繁栄を物語ります。



小説 T A T A R A

激動の明治時代に「たたら」で栄えた日野谷を舞台にした歴史小説。主人公「りん」を中心にたくましく生きぬいた人々が描かれています。たたらの炎のように熱く燃えていた奥日野のくらしに思いを馳せることのできる作品です。



たたら製鉄用語集

難解な用語をマスターし、あなたも一流の「たたら通」!

- かなながし【鉄穴流し】** 原材料となる良質な砂鉄を採るため、砂鉄を含む土砂を水路に流して砂鉄を取り出す方法。
- けら【鋸】** 砂鉄からつくられた鉄や鋼、銑鉄がまざった塊。
- たかどの【高殿】** たたら製鉄の複雑な炉を覆う建物。
- たたら【鑪】** 砂鉄を溶かす炉や設備の総称。もとは火勢を強めるための足ふみ送風機の鞆(ふいご)のこと。
- たまはがね【玉鋼】** 砂鉄からつくられる一番すぐれた鋼(はがね)。日本刀の材料となる。
- のろ** 鉄を精錬するときに見える不純物を多く含んだ滓(かす)。鉾滓(こうさい)、金くそ(かなくそ)ともいう。

日野郡の「たたら製鉄」に関すること

【お問合せ】 伯耆国たたら顕彰会
〒689-4503鳥取県日野郡日野町根雨341-2(日野町商工会内)
電話：0859-72-0249 FAX：0859-72-1430



えびじゅうしちや 江尾十七夜 (江府町江尾)

今から500年前に始まったとされる「江尾十七夜」。このお祭りで踊られるのが、ゆったりとしたリズムが特徴の「こだいち踊り」。県の無形民俗文化財の指定も受けています。踊りのほかにも花火、火文字や貝田の傘踊りなど、実に様々な催しが行われ、町外からも大勢の人が集う情緒あふれる一大祭りです。

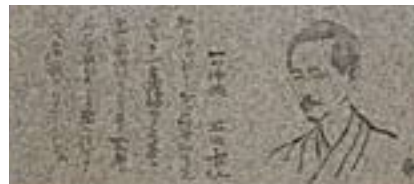


江尾十七夜キャラクター
『江尾(えび)ちゃん』

【お問合せ】 江府町観光協会
電話：0859-75-6007 FAX：0859-75-3943

いくたちょうこう 生田長江 (日野町)

日野町貝原」出身で、明治、大正、昭和にかけて活躍した文学者生田長江氏。「ニイチェ全集」を翻訳し、平塚らいてう等により女性解放文芸誌「青鞥(せいとう)」の名付け親となったり、評論家としても活躍しました。日野町根雨の延暦寺に顕彰の碑が建てられています。



【お問合せ】 白つじの会 (事務局日野町図書館内)
電話：0859-72-1300 FAX：0859-72-1320
メールアドレス：http://tosyo.town.hino.tottori.jp/864.html

日野郡の文化

500年の由緒あるお祭り、偉大な文学者や作家、歴史上の事件など…日野郡の文化も要チェックです。

まつもとせいちょうぶんがくし 松本清張文学碑 (日南町矢戸)

作家松本清張氏が父の峯太郎の生まれ故郷として終生懐かしみ、慕ってやまなかった矢戸の地に立つ清張本人直筆の文学碑です。小説「父系の指」「半生の記」の舞台にもなっています。



【お問合せ】 日南町役場 電話：0859-82-1111

けだつじ 解脱寺 (日南町下阿毘縁)

1650年開創で、日蓮聖人自作の像があることから、地元では「高祖(こうそ)さん」とも呼ばれている由緒あるお寺です。大鳥居をくぐり参道の石段を登る途中には、樹齢約200年の見事なモミ並木があり、県の天然記念物に指定されています。本堂の天井には9体の龍神(九頭龍神)が描かれており、ご本尊様を含めたお堂の空間全体で輪廻転生が表されています。



【お問合せ】 解脱寺 電話：0859-87-0401

せんりゅうじ 泉龍寺 (日野町黒坂)

約400年前に黒坂鏡山城を築いた城主、関一政(せきかずまさ)が建立したお寺で、幕末動乱期、京都で起こった事件(本圀寺事件)の「因藩二十士」が幽閉された場所でした。二十士のまとめ役だった「河田佐久馬」が初代鳥取権令(ごんれい)となるなど、その後の県の歴史にも大きく関わる出来事でした。



【お問合せ】 泉龍寺 電話：0859-74-0140
HPアドレス：http://www9.ocn.ne.jp/~senryu/

いのうえやすしきねんかんのわけのやかた 井上靖記念館 野分の館 (日南町福米)

世界的文豪の井上靖氏は、昭和20年この地に家族を疎開させ、自らもしばしば訪れました。その縁あって文学碑と詩碑が建立され、原稿や著書が展示されています。日南町を「天体の植民地」と表現し、中国山地が登場する小説があります。



【お問合せ】 日南町役場 電話：0859-82-1111

日野郡の美味しいもの

標高が高く寒暖の差がある日野郡には、大地の豊かな恵みがあふれています。

ブルーベリー

10ヘクタールに47品種、17000本ものブルーベリーが栽培され、様々な味を楽しむことができます。天気の良い日には、大山の南壁の絶景を楽しみながら、時間を気にせず、ゆったりと過ごすことができます。併設のカフェでは農園で収穫されたブルーベリーを使った焼ドーナツ・お茶を味わうことができます。冬期は、国道181号沿いの「プチアペゼ」で焼きドーナツ、ジャム等を販売しています。



入 園 料：大人 800円、小学生 500円、
幼児・園児 無料
お持帰り：中パック 600円 (400g目安)

【お問合せ】奥大山ブルーベリーファーム
〒689-4400鳥取県日野郡江府町笠原良739-4
平日（月～金）電話：0859-75-6088/0859-75-3362
FAX：0859-75-6088/0859-75-3405
土日・祝日 電話：0859-75-6088/FAX 0859-75-6088
HPアドレス：kasarabara.com
メールアドレス：info@kasarabara.com



時期 7月上旬～9月上旬



トマト

日南町は冷涼な気候と綺麗な水を生かしたトマト栽培が盛ん。その栽培方法を教わりながら、ハウス内で大事に育てられたトマトの収穫が体験できます。産地で食べる'完熟'もぎたてトマトは一味違います。

【お問合せ】棚木建明さん
〒689-5672鳥取県日野郡日南町神福1822-3
電話：0859-83-1068



しいたけ

しいたけ原木のオーナー制度です。オーナーの方は、地元のしいたけ生産農家の方から指導を受け、植菌・収穫などを体験することができます。しいたけは一度植菌すると5年間は収穫できます。この他にも食に関する体験学習(手打ちそば、豆腐、こんにゃくづくりなど)を年間を通じて実施しています。

【お問合せ】里山元気塾（小谷博徳さん）
〒689-5137鳥取県日野郡日野町上管306
電話：0859-74-0136
メールアドレス：genki-vill@sirius.ocn.ne.jp



自然薯

奥大山の豊かな自然の中で育った『自然薯』は粘りが違います。掘るのが難しい自然薯ですが、丁寧に指導してもらえ、その調理まで体験することができます。また、手作りした簡易燻製機でいろいろな食品での燻製作りも体験することができます。

【お問合せ】(株)コーセン（川端 登志一さん）
〒689-4401鳥取県日野郡江府町江尾47-9
電話：0859-75-2124 FAX：0859-75-2933

そば

日野郡では山間地の寒暖差によって、十分な糖分が貯えられたそばの実が収穫できます。さらに水も美味しいこの地で、新鮮な地元産そば粉を使ってそば打ち体験をしてみませんか。



所要時間：約2時間
定休日：毎週水曜日
申し込み：3～6人で要予約
体験料：1人2,000円

【お問合せ】そば道場たたらや
〒689-4503
鳥取県日野郡日野町根雨671-1
電話・FAX：0859-72-2261



所要時間：約2時間
定休日：毎週日曜日
申し込み：2～6人で要予約
体験料：1人2,000円

【お問合せ】そば処かめや
〒689-5665
鳥取県日野郡日南町下石見911
電話・FAX：0859-83-0238

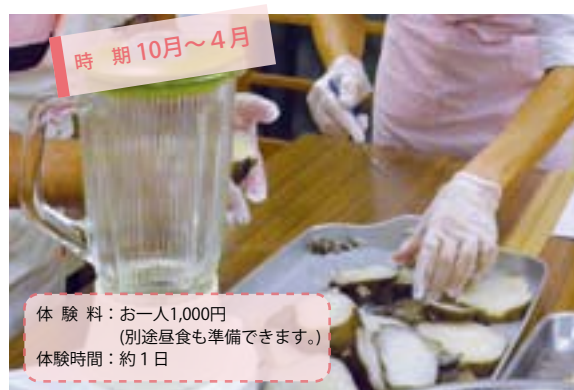
日野郡産のそばが気軽に楽しめるお店

広島県との県境に近い多里にある水車の回る和風の建物が「ホームランド多里」です。地元でとれた農産物や加工品を販売したり、レストランで手打ちそばや団子汁などさまざまなメニューを提供しています。料理に使われるそば粉や米粉・団子の粉はこの水車を使って挽かれています。この米粉で作ったおせんべい「コットン」も人気です。



営業時間：9時～18時(夏期は19時まで)
定休日：毎週水曜日

【お問合せ】ホームランド多里
〒689-5224鳥取県日野郡日南町多里783-10
電話・FAX：0859-84-0246



体験料：お一人1,000円
(別途昼食も準備できます。)
体験時間：約1日

手作りコンニャク

地元で栽培された芋を使用したコンニャク作りを体験することができます。自分で作ったコンニャク、出来立てをお刺身でいただく美味しさは格別！

【お問合せ】野土香(のどか) (代表 遠藤千嘉子さん)
〒689-5531鳥取県日野郡日南町印賀1516大宮地域振興センター内
電話：0859-87-0473



グループで作っている甘酸っぱさが特徴の'リバーブジャム'をお土産にいかがですか。

宿泊施設・観光施設・おみやげ

日野郡の魅力を感じることができる宿泊施設で四季を通じてその魅力を感じてください。

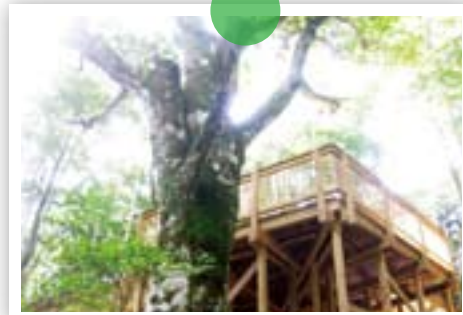


江府町鏡ヶ成

きゅうかむら おくだいせん 休暇村奥大山

蒜山大山スカイラインのミズナラの森を抜けた先、標高920メートルの高原に位置する宿泊施設です。芝生広場やオートキャンプ場、スキー場、登山道も隣接し、四季を通じて自然にふれあうことができます。

[お問合せ]休暇村奥大山
〒689-4424 鳥取県日野郡江府町御机字鏡ヶ成709-1
電話：0859-75-2300 FAX：0859-75-2310
HPアドレス：<http://www.qkamura.or.jp/daisen/>



自然学習歩道内の展望デッキ

オートキャンプ

場所：鏡ヶ成キャンプ場
時期：春～秋
キャンプ用品一式、食事、施設での入浴までついた手ぶらプランもあります。



スノーシュー体験

場所：施設周辺
時期：冬
スノーシュー(西洋かんじき)を履いて、冬にしか近くに行くことができない「巨木」をスタッフと一緒に見にいこう！



ノルディックウォーク体験

場所：施設周辺
時期：春～秋
施設近くの擬宝珠山象山周辺を、春にはカタクリ、夏にかけては木々の深緑、秋は紅葉など季節ごとの自然を講師と一緒に体験するメニューです。



日南町神戸上

にちなんむら

ふるさと日南邑ファームイン

自然に囲まれた山中の多目的施設で、合宿からレジャーまで大人数で楽しむことができます。レストラン・宿泊(キャンプ場、ログハウス)・シカ牧場もあり、ソバ打ち体験、体験農園、魚のつかみどりなども体験することができます。

[お問合せ]ふるさと日南邑ファームイン
〒689-5662 鳥取県日野郡日南町神戸上2962-1
電話：0859-83-1188 FAX：0859-83-0779
HPアドレス：<http://www.nichinanmura.jp/>



日南町下阿毘縁

しきさい

ゆきんこ村 四季彩

ゆきんこ村四季彩は鳥根県奥出雲町との県境、阿毘縁(あびれ)地区にある多目的宿泊施設です。地名の阿毘縁は、梵語で他に比類なき素晴らしいところという意味。その名のとおり、四季の変化に富む大自然の中で、四季を通じて各種体験が楽しめます。

[お問合せ]ゆきんこ村 四季彩
〒689-5551 鳥取県日野郡日南町下阿毘縁字山ノ神478
電話：0859-87-0431 FAX：0859-87-0433
営業時間：(レストラン) 10：00～18：00
定休日：火曜日

日南町霞

イチイ荘

ビジネスホテルタイプの洋室(2階は和室)があり、短期間滞りして日野郡を散策してみたい方にお勧めのお宿です。レストラン「キッチンピエロ」では、地元食材を使った洋食を味わうことができます。

[お問合せ]イチイ荘
〒689-5212 鳥取県日野郡日南町霞615
電話・FAX：0859-82-0073



日野町根雨

あさかつかん 朝勝館

根雨の町中にある落ち着いた雰囲気のお宿です。料理は川魚料理、山菜料理が楽しめます。オンドリ観察小屋からも近く、観察に宿泊する方が多いです。

[お問合せ]朝勝館
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨676
電話：0859-72-0015



名物 大山おこわ

地元では祭りや季節行事などで欠かすことができない「大山おこわ」。由来は明らかではありませんが、大山寺へお参りする際の道中食として作られ始めたという説があります。その具材はもち米、鶏肉、椎茸、ゴボウ、栗、こんにゃく、油揚げ、山菜などで、だし汁、醤油、砂糖などで味付けし、蒸し上げて作られます。「大山おこわ」を食べて、大山の歴史や自然を感じてみてください。



江府町江尾 おかもと旅館

電話：0859-75-2222
FAX：0859-75-3032

江府町江尾 (有)米子屋旅館

電話：0859-75-2400
FAX：0859-75-3964

江府町江尾 門脇旅館

電話：0859-75-2053
FAX：0859-75-3605

江府町江尾 大岩酒造本店

霊峰大山の麓、「奥大山」江府町の天然水を使って仕込まれ、自然に滴るしずくを集めた渾身の一本が「大吟醸 奥大山の雫」です。また、開運・金運の神社として広く知られる日野町の金持神社の御利益にあやかるよう、金持神社で開運祈願した縁起のいいお酒を「金持酒」として徳利に詰めました。

[お問合せ]大岩酒造本店
〒689-4401鳥取県日野郡江府町江尾1872
電話：0859-75-2404



日南町霞 もち工房 日南ふっくら娘

中国山地の綺麗な水と空気で作ったもち米「ヒメノモチ」は甘みと粘りが違います。丸餅、草餅、かき餅などたくさん種類がありますのでご自宅、ご贈答用にぜひお召し上がり下さい。

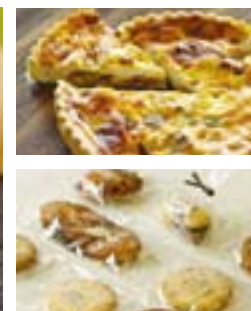
[お問合せ]もち工房 日南ふっくら娘
〒689-5212鳥取県日野郡日南町霞924-10
電話・FAX：0859-82-1308



日南町下石見 いなかや本舗

キノコ王国鳥取県でも珍しい「ハタケシメジ」を使った様々な商品が揃います。「ハタケシメジ」のシャキシャキとした歯ごたえをいかした佃煮「きのこっ娘」、お酒のお供にぴったりな「森の珍味のしたきのこ」、そしてお手軽さが人気の「炊き込みご飯の素」などは是非一度ご賞味ください。

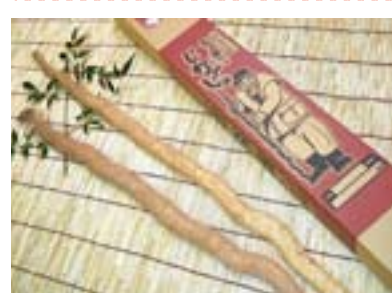
[お問合せ]いなかや本舗 (日南振興株)
〒689-5665鳥取県日野郡日南町下石見199-2
電話：0859-83-0830



江府町佐川 ヤコブの杖

卵・蜂蜜など、使用する素材の安全性にこだわって丁寧につくられたロールケーキが自慢です。キッシュや日持ちのする焼き菓子もあります。

[お問合せ]ヤコブの杖
〒689-4431鳥取県日野郡江府町佐川1295
電話：0859-75-3164 営業時間：8：00～18：00
定休日：月曜、第3日曜日 (祝日は翌日振替)



日南町矢野 自然薯屋おおえ

山菜の王様「自然薯」は寒暖差の大きな気候と上質な土壌で育った強い粘りが特徴の健康食で、県の特別栽培農産物の認証を受けた自信作です。その自然薯を練り込み、のどごしのよい「自然薯めん」や、むかごを使った「リゾット」の素もあります。

[お問合せ]自然薯屋おおえ (南大柄組)
〒689-5215鳥取県日野郡日南町矢野1206-1
電話：0859-82-0859 営業時間：8：00～18：00
定休日：日、祝日



江府町美用 美用レディース

江府町美用(みよう)地区のお母さん方が集まり、地元のトマトを使った加工品を作っているのが「美用レディース」です。商品は添加物や保存料を一切使用せず、素材そのものの味を大切に、一つ一つ心をこめて作っています。



[お問合せ]美用レディース加工グループ
〒689-4423鳥取県日野郡江府町大字美用
電話・FAX：0859-75-3570

江府町佐川 みちくさ

江府町の新鮮野菜や加工品を販売しています。江府1Cのすぐ近くにあり、地元はもちろん、観光客も多く立ち寄り人気の場所です。



[お問合せ]江府町特産物直売所みちくさ
〒689-4431鳥取県日野郡江府町佐川1908-3
電話・FAX：0859-75-2032

日南町 トマトを使った加工品



日南町では清澄な水と冷涼な気候を活かしたトマト栽培が盛んです。また標高の高い日南町は寒暖の差が大きいため、収穫したトマトの糖度が高く、味・香りがぎゅっと濃縮されているのが特徴です。この美味しいトマトをそのまま使った加工品が人気です。



日南トマト加工株式会社
電話・FAX：0859-82-0413



日南町特産品開発部会
電話・FAX：0859-82-0794